Master-K シリーズ Cnet ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	5
3	通信設定例	6
4	設定項目	
5	結線図	41
6	使用可能デバイス	55
7	デバイスコードとアドレスコード	56
8	エラーメッセージ	57

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

LS 産電(株)製接	妄続機器と表示器を接続す	る場合のシステ	ム構成を示します。
------------	--------------	---------	-----------

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	通信設定	結線図
	K7P-30AS		RS232C	設定例 1 (6 ページ)	結線図 1 (43 ページ)
K1000S		G3L-CUEA (K7F-CUEA) ^{※ 1}	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (8 ページ)	結線図 2 (44 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 3 (10 ページ)	結線図 3 (48 ページ)
			RS232C	設定例 1 (6 ページ)	結線図 1 (43 ページ)
K300S	K4P-15AS	G4L-CUEA (K4F-CUEA) ^{※ 1}	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (8 ページ)	結線図 2 (44 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 3 (10 ページ)	結線図 3 (48 ページ)
		G6L-CUEB (K3F-CU2A) ^{** 1}	RS232C	設定例 4 (12 ページ)	結線図 1 (43 ページ)
K200S	K3P-07AS K3P-07BS K3P-07CS	G6L-CUEC (K3F-CU4A) ^{×1}	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (14 ページ)	結線図 2 (44 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 6 (16 ページ)	結線図 3 (48 ページ)
	K7M-DR(T)20U K7M-DR(T)30U K7M-DR(T)40U K7M-DR(T)60U K7M-DT20U K7M-DT30U K7M-DT30U K7M-DT40U K7M-DT60U	CPU ユニット上のポート 1	RS232C	設定例 7 (18 ページ)	結線図 4 (51 ページ)
		CPU ユニット上のポート 2	RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (20 ページ)	結線図 5 (52 ページ)
K120S		G7L-CUEB	RS232C	設定例 9 (22 ページ)	結線図 1 (43 ページ)
		7M-DT40U 7M-DT60U G7L-CUEC	RS422/485 (4 線式)	設定例 10 (24 ページ)	結線図 2 (44 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 11 (26 ページ)	結線図 3 (48 ページ)
K80S	K7M-DR10S(/DC) K7M-DR20S(/DC) K7M-DR30S(/DC) K7M-DR40S(/DC) K7M-DR60S(/DC) K7M-DT10S K7M-DT10S K7M-DT20S K7M-DT30S K7M-DT40S K7M-DT60S	CPU ユニット上のポート	RS232C	設定例 12 (28 ページ)	結線図 4 (51 ページ)
		G7L-CUEB	RS232C	設定例 13 (30 ページ)	結線図 1 (43 ページ)
		G7L-CLIEC	RS422/485 (4 線式)	設定例 14 (32 ページ)	結線図 2 (44 ページ)
		7M-DT40S 7M-DT60S		設定例 15 (34 ページ)	結線図 3 (48 ページ)

※1 ()内は旧モジュール名です。

■ 接続構成

1:1接続



2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 プロジェ	クトファイルの新規作成	ĸ
接続機器		
メーカー	LS 産電(株)	
シリーズ	Master-K シリーズ Onet	
□ 225	Fムエリアを使用する この接続機器のマニュアルを見る	
接続方法		
ポート	COM1	
	機器接続マニュアルへ	
	戻る 通信の詳細設定 画面作成 キャンセル	

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「LS 産電(株)」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「Master-K シ リーズ Cnet」を選択します。 「Master-K シリーズ Cnet」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してくだ さい。 プ「1 システム構成」(3ページ)
システムエリアを使用 する	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトア クセス方式専用)」 この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.14.6[システム設定ウィンドウ] の設定ガイド■[本体設定]の設定ガイド◆システムエリア設定」 参照:保守/トラブル解決ガイド「2.14.1 表示器共通」■[本体設定]の設定ガ ィド◆システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株)デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1							
概要				接続機器変更			
メーカー LS 産	電(株)	シリーズ [1	Master-K シリーズ Cnet	ポート COM1			
文字列データモ	-K 2 👳						
通信設定							
通信方式	RS232C	C RS422/485(2	2線式) C RS422/485(4線式	(¢			
通信速度	38400	•					
データ長	C 7	8					
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	〇 奇数				
ストップビット	I	C 2					
フロー制御	◎ なし		5) O XON/XOFF				
タイムアウト	β 🗄	(sec)					
リトライ	2 🗄						
送信ウェイト	0 🗄	(ms)					
RI / VCC	© RI	C VCC					
RS232Cの場合 にするかを遅れ	RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかと説得できます。 デビカル 割PS232Cアイバル - ジョン・コニッ						
トを使用するも	トを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定						
機器別設定							
接続可能台数 16台 📷							
No. 機器≈	8		n				

◆機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
号機	p 😐
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は設定ツール(Cnet Frame Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。

- 2 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「9」(On Line Mode)に設定し、接続機器の電源を再投入します。
- 3 設定ツールを起動し、通信ポートを設定します。

[Option] メニューから [Port] を選択し、1. で接続した接続機器のポートとパソコンのポートを設定します。

4 [Online] メニューから [Connect] を選択し、接続機器とパソコンが通信できる状態にします。

5 設定ツールで接続機器の通信設定を行います。

設定	設定内容	
Channel		RS232 side
	Station	00
	Туре	Null Modem
Base Parameters	Baud Rate	38400
Dase I drameters	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1

6 [Online] メニューから [Write] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Option	Basic Parameters	書込む内容を選択します。ここでは Basic Parameters を選択します。

7 [Online] メニューから [Online Change Mode] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Channel	Stand Alone	
RS-232C	Dedicated Mode	

8 [Online] メニューから [Change RUN/STOP] を選択し、接続機器を RUN 状態にします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Туре	RS_232C	

9 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「3」(Dedicated Mode) に設定し、接続機器の電源を再投入します。

3.2 設定例 2

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1							
概要				接続機器変更			
メーカー LS 産電(株)		シリーズ Mas	ter-K シリーズ Onet	ポート COM1			
文字列データモード	2 変更						
通信設定							
通信方式	O RS232C	〇 RS422/485(2線)	式) ⓒ RS422/485(4線式)				
通信速度	38400	•					
データ長	C 7	• 8					
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	○ 奇数				
ストップビット	⊙ 1	C 2					
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF				
タイムアウト	β 📑 🤅	sec)					
リトライ	2 🔅						
送信ウェイト	P 🗄 (ms)					
RI / VCC	© RI	C VCC					
RS232Cの場合、9番 にするかち避視できま	RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC (5V電源供給)						
トを使用する場合は、VCOを選択してどだい。 初期設定							
接続可能台数 16台 📊							
No. 機器名	No. 機器名						

◆ 機器設定

💰 個別機器設定		×
PLC1		
号機	p	
	初期	設定
OK(<u>O</u>)	¥+	シセル

接続機器の通信設定は設定ツール(Cnet Frame Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。

- 2 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「9」(On Line Mode)に設定し、接続機器の電源を再投入します。
- 3 設定ツールを起動し、通信ポートを設定します。

[Option] メニューから [Port] を選択し、1. で接続した接続機器のポートとパソコンのポートを設定します。

4 [Online] メニューから [Connect] を選択し、接続機器とパソコンが通信できる状態にします。

5 設定ツールで接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Channel		RS422 side
	Station	00
	Туре	Null Modem
Base Parameters	Baud Rate	38400
Dase I drameters	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1

6 [Online] メニューから [Write] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Option	Basic Parameters	書込む内容を選択します。ここでは Basic Parameters を選択します。

7 [Online] メニューから [Online Change Mode] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Channel	Stand Alone	
RS-422	Dedicated Mode	

8 [Online] メニューから [Change RUN/STOP] を選択し、接続機器を RUN 状態にします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Туре	RS_422	

9 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「3」(Dedicated Mode) に設定し、接続機器の電源を再投入します。

3.3 設定例 3

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(株	6)	シリーズ Mas	ter-K シリーズ Cnet	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C		式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	•		
データ長	O 7	8 8		
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔅	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🗄	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VOC		
RS232Cの場合、9 にするかち避視でき	番ピンをRI(入力)(ます。デジカル制度	こするかVCCにV電源供	給)	
129000202000000000000000000000000000000	よ、VOCを選択して	しとしとし パイ クレークヨンニ こください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	î 📷			
No. 機器名				

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定は設定ツール(Cnet Frame Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。

- 2 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「9」(On Line Mode)に設定し、接続機器の電源を再投入します。
- 3 設定ツールを起動し、通信ポートを設定します。

[Option] メニューから [Port] を選択し、1. で接続した接続機器のポートとパソコンのポートを設定します。

4 [Online] メニューから [Connect] を選択し、接続機器とパソコンが通信できる状態にします。

5 設定ツールで接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Channel		RS422 side
	Station	00
	Туре	Null Modem
Base Parameters	Baud Rate	38400
Base Farameters	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1

6 [Online] メニューから [Write] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Option	Basic Parameters	書込む内容を選択します。ここでは Basic Parameters を選択します。

7 [Online] メニューから [Online Change Mode] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Channel	Stand Alone	
RS-422	Dedicated Mode	

8 [Online] メニューから [Change RUN/STOP] を選択し、接続機器を RUN 状態にします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Туре	RS_422	

9 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「3」(Dedicated Mode) に設定し、接続機器の電源を再投入します。

3.4 設定例 4

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー LS 産電(株)	シリーズ Master-K シリーズ Cnet	ポート COM1
文字列データモード 2 変更		
通信設定		
通信方式 · RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度 38400	•	
データ長 〇 7	• 8	
パリティ 💿 なし	○偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1	C 2	
フロー制御 💿 なし	O ER(DTR/GTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🗄	(sec)	
UNDA 🛛 🖻 🗄		
送信ウェイト 🛛 🚊	(ms)	
RI/VCC © RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力 にするかた避視のきます。 デジャル制)にするか VCC (5 V電源供給)	
トを使用する場合は、VCCを選択し	いるころこのアイラレーションエニッ 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 📷		
No. 機器名	設定	

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定は設定ツール(Cnet Frame Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。

- 2 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「9」(On Line Mode)に設定し、接続機器の電源を再投入します。
- 3 設定ツールを起動し、通信ポートを設定します。

[Option] メニューから [Port] を選択し、1. で接続した接続機器のポートとパソコンのポートを設定します。

4 [Online] メニューから [Connect] を選択し、接続機器とパソコンが通信できる状態にします。

5 設定ツールで接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Channel		RS232 side
	Station	00
	Туре	Null Modem
Base Parameters	Baud Rate	38400
Dase I drameters	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1

6 [Online] メニューから [Write] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Option	Basic Parameters	書込む内容を選択します。ここでは Basic Parameters を選択します。

7 [Online] メニューから [Online Change Mode] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Channel	Stand Alone	
RS-232C	Dedicated Mode	

8 [Online] メニューから [Change RUN/STOP] を選択し、接続機器を RUN 状態にします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Туре	RS_232C	

9 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「1」(Dedicated Mode) に設定し、接続機器の電源を再投入します。

3.5 設定例 5

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(材	(;	シリーズ Mas	ter-K シリーズ Onet	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線)	式) ⓒ RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	T		
データ長	C 7	• 8		
パリティ	● なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 📑	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	p 🚊	(ms)		
RI / VCC	💿 RI	C VCC		
RS232Cの場合、9 にするかち避免でき	番ピンをRI(入力)(注す。デジカル制度	こするかVCCにV電源供	給)	
トを使用する場合(は、VCCを選択して	し2020 パイクレージョン」 こください。	初期設定	1
機器別設定				
接続可能台数 16台	i 📊	- 0		
No. 機器名		設定		

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
号機	p 🚊
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は設定ツール(Cnet Frame Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。

- 2 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「9」(On Line Mode)に設定し、接続機器の電源を再投入します。
- 3 設定ツールを起動し、通信ポートを設定します。

[Option] メニューから [Port] を選択し、1. で接続した接続機器のポートとパソコンのポートを設定します。

4 [Online] メニューから [Connect] を選択し、接続機器とパソコンが通信できる状態にします。

5 設定ツールで接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Channel		RS422 side
	Station	00
	Туре	Null Modem
Base Parameters	Baud Rate	38400
Dase I diameters	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1

6 [Online] メニューから [Write] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Option	Basic Parameters	書込む内容を選択します。ここでは Basic Parameters を選択します。

7 [Online] メニューから [Online Change Mode] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Channel	Stand Alone	
RS-422	Dedicated Mode	

8 [Online] メニューから [Change RUN/STOP] を選択し、接続機器を RUN 状態にします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Туре	RS_422	

9 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「1」(Dedicated Mode) に設定し、接続機器の電源を再投入します。

3.6 設定例 6

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(株	(;	シリーズ Mas	ter-K シリーズ Onet	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485位線:	式) 🔘 RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	•		
データ長	0.7	8 8		
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	βΞ	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🗄	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、9 にするかち避視でき	番ピンをRI(入力)(ます。デジカル制度	こするかVCC(5V電源供	(給)	
トを使用する場合(よ、VOCを選択して	し2020 パイクレーション」 こください。	初期設定	1
機器別設定				
接続可能台数 16台	i 📷	- 1		
No. 機器名		設定		

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定は設定ツール(Cnet Frame Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。

- 2 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「9」(On Line Mode)に設定し、接続機器の電源を再投入します。
- 3 設定ツールを起動し、通信ポートを設定します。

[Option] メニューから [Port] を選択し、1. で接続した接続機器のポートとパソコンのポートを設定します。

4 [Online] メニューから [Connect] を選択し、接続機器とパソコンが通信できる状態にします。

5 設定ツールで接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Channel		RS422 side
Base Parameters	Station	00
	Туре	Null Modem
	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1

6 [Online] メニューから [Write] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Option	Basic Parameters	書込む内容を選択します。ここでは Basic Parameters を選択します。

7 [Online] メニューから [Online Change Mode] を選択します。

表示されたダイアログボックスで設定を行い、[Write]をクリックします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Channel	Stand Alone	
RS-422	Dedicated Mode	

8 [Online] メニューから [Change RUN/STOP] を選択し、接続機器を RUN 状態にします。

設定項目	設定内容	内容
Slot No.	SLOT 0	Cnet モジュールが装着されているスロットを選択します。
Туре	RS_422	

9 Cnet モジュール上の Mode ロータリ SW を「1」(Dedicated Mode) に設定し、接続機器の電源を再投入します。

3.7 設定例 7

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(株)		シリーズ Mas	ter-K シリーズ Onet	ポート COM1
文字列データモード 厂	2 変更			
通信設定				
通信方式	RS232C	C RS422/485(2線)	式) 🔘 RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	•		
データ長	C 7	8 8		
パリティ	● なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	€ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (6	ec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	p 🗄 G	ns)		
RI / VCC	RI	C VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま	ピンをRI(入力)に オーデジタル制成	するかVCC(5V電源供	給)	
トを使用する場合は、	VCCを選択して	(ださい。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	11			
No. 機器名				

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。
 [BUILT_IN CNET] スイッチを ON します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「120S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [CommCh0] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.8 設定例 8

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(株	6)	シリーズ Mas	ter-K シリーズ Cnet	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C		式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	•		
データ長	O 7	8 8		
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔅	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🗄	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VOC		
RS232Cの場合、9 にするかち避視でき	番ピンをRI(入力)(ます。デジカル制度	こするかVCCにV電源供	給)	
129000202000000000000000000000000000000	よ、VOCを選択して	しとしとし パイ クレークヨンニ こください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	î 📷			
No. 機器名				

◆機器設定

💰 個別機器設定		×
PLC1		
号機	p	
	初其	服定
OK(<u>O</u>)	*	ゃンセル

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- 1 接続機器の CPU ユニット上の RS-485 ポートとパソコンを接続します。 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「120S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- **4** [CommCh1] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

- 5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。
- **6** [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

МЕМО	 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があり ます
	ょう。 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.9 設定例 9

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(株)		シリーズ Maste	er-K シリーズ Onet	ポート COM1
文字列データモード 2				
通信設定				
通信方式 📀	RS232C C	RS422/485位線式	、) C RS422/485(4線式)	
通信速度 3	8400	•		
データ長 〇	7 📀	8		
パリティ 💿	∵なし ⊂	偶数	○ 奇数	
ストップビット 💿	01 O	2		
70〜制御 🤅	りなし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🛛	(sec)			
リトライ 🛛 🛛				
送信ウェイト 🛛 🛛	: (ms)			
RI / VCC (*	RIO	VCC		
RS232Cの場合、9番ピ にするかち避視できます	ンをRI(入力)にする; デジカル制PS222	かVCC(5V電源供給	合)	
トを使用する場合は、V	。) りりかみ (13232 /CCを選択してくださ	0)4777-7377. No	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 📗				
No. 機器名				

◆機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- リンク I/F とパソコンを接続します。
 [BUILT_IN_CNET] スイッチを OFF します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「120S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [CommCh0] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.10 設定例 10

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(材	(;	シリーズ Mas	ter-K シリーズ Onet	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線)	式) ⓒ RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	×		
データ長	C 7	• 8		
パリティ	● なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 📑	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	p 🚊	(ms)		
RI / VCC	💿 RI	C VCC		
RS232Cの場合、9 にするかち避免でき	番ピンをRI(入力)(注す。デジカル制度	こするかVCCにV電源供	給)	
トを使用する場合(は、VCCを選択して	し2020 パイクレージョン」 こください。	初期設定	1
機器別設定				
接続可能台数 16台	i 📊	- 0		
No. 機器名		設定		

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- リンク I/F とパソコンを接続します。
 [BUILT_IN_CNET] スイッチを OFF します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「120S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [CommCh0] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.11 設定例 11

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー LS 産電(株)	シリーズ Master-K シリーズ Cnet ポート COM1
文字列データモード 🛛 🧝	
通信設定	
通信方式 🔿 RS2	○ ● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速度 38400	•
データ長 〇 7	· 8
パリティ 💿 なし	○ 偶数 ○ 奇数
ストップビット 💿 1	O 2
フロー制御 💿 なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト 🛛 🛛 🛛 🖓	isec)
U1-5-1 2	
送信ウェイト 🛛 🛛 🛛 🖉	📑 (ms)
RI / VCC C RI	O VCC
RS232Cの場合、9番ピンをR	、力)にするかVOC(5V電源供給)
トを使用する場合は、VCCを	振してください。 初期設定
機器別設定	
接続可能台数16台 📷	
No. 機器名	

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- リンク I/F とパソコンを接続します。
 [BUILT_IN_CNET] スイッチを OFF します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「120S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [CommCh0] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.12 設定例 12

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー LS 産電(株)	シリーズ Master-K シリーズ Cnet	ポート COM1
文字列データモード 2 変更		
通信設定		
通信方式 · RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度 38400	•	
データ長 〇 7	• 8	
パリティ 💿 なし	○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1	C 2	
70〜制御 💿 なし	O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
ያብ አምዕኑ 🛛 🗄	(sec)	
UN D A 🛛 🗄	1	
送信ウェイト 🛛 🚊	(ms)	
RI/VCC © RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力 にするかち選択できます。デジャル制)にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は、VCCを選択し	いってんださい。 初期設定	1
		-
接続可能台数 16台 📷		
No. 機器名		

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
号機	p 🚊
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- 接続機器の CPU ユニット上の RS-232C ポートとパソコンを接続します。
 [BUILT_IN CNET] スイッチを ON します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「80S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [Comm] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設定項目		設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.13 設定例 13

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー LS 産電(株)	シリーズ Master-K シリーズ Onet	π−ト COM1
文字列データモード 2	<u>「更</u>	
通信設定		
通信方式 © R	232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 3840		
データ長 〇7	• 8	
パリティ 💿 な	○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1	© 2	
フロー制御 💿 な	, C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF	
タイムアウト β	(sec)	
UN D 1 2		
送信ウェイト 🛛 🛛	(ms)	
RI / VCC C RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンを にするかた選択できます。そ	RI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
に りる がで と な よ の の の で こ よ り。 の う 、 ト を 使用する 場合は、 VCC	を選択してください。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 📷		
No. 機器名		

◆ 機器設定

💰 個別機器設定		×
PLC1		
号機	p	
	初期	設定
OK(<u>O</u>)	¥+	シセル

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

- リンク I/F とパソコンを接続します。
 [BUILT_IN_CNET] スイッチを OFF します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「80S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [Comm] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設	定項目	設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.14 設定例 14

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー LS 産電(株)		シリーズ Mas	ter-K シリーズ Cnet	ポート COM1
文字列データモード 🏾	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線)	式) ⓒ RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	•		
データ長	C 7	8 8		
パリティ	● なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	© なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔆 (s	ec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	p 🗄 (r	ns)		
RI / VCC	© RI	O VOC		
RS232Cの場合、9番 にするかち避視できま	ピンをRI(入力)に オーデジタル制い	するか VCC (5V電源供	(給)	
ドを使用する場合は、VOOを選択してください。				
機器別設定				
接続可能台数 16台	Ut:			
No. 機器名 又 1 PLC1				

◆機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

- リンク I/F とパソコンを接続します。
 [BUILT_IN_CNET] スイッチを OFF します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「80S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [Comm] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設	定項目	設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

3.15 設定例 15

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ē		
メーカー LS 産電(株)	シリーズ Master-K シリーズ Onet ポート COM1			
文字列データモード 🛛 🕱				
通信設定				
通信方式 🔿 RS2	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)			
通信速度 38400	T			
データ長 〇 7	8			
パリティ 💿 なし	○ 偶数 ○ 奇数			
ストップビット 💿 1	© 2			
フロー制御 📧 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF			
タイムアウト 3	esec)			
UN 5 1 2	÷			
送信ウェイト D				
RI / VCC C RI	C Voc			
RS232Cの場合、9番ピンをR	力)にするかVCC(5/電源供給)			
ドを使用する場合は、Vooを選択して代だい。 初期設定				
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名	設定	_		

◆機器設定

💰 個別機器設定	×	
PLC1		
号機	p 🚊	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	キャンセル	

接続機器の通信設定はラダーソフト(KGL_WIN)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- ♦手順
- リンク I/F とパソコンを接続します。
 [BUILT_IN_CNET] スイッチを OFF します。
 使用するケーブルについては接続機器のマニュアルを参照してください。
- 2 ラダーソフトを起動し、プロジェクトを新規作成します。

[PLC Type]の[MK_S]から「80S」を選択します。

- **3** ツリービューの [Parameter] をダブルクリックして [Parameter] ダイアログボックスを表示します。
- 4 [Comm] タブをクリックし、接続機器の通信設定を行います。

設	定項目	設定内容
Communication		Enable
	Station Number	0
Communication Method	Baud Rate	38400
	Data Bit	8
	Parity	None
	Stop Bit	1
	Communication Channel	RS232C Null Modem or RS422/485
Protocol and Mode	Dedicated	Slave

5 [Online] メニューから [Connect] を選択します。

6 [Online] メニューから [Write[KGL_WIN=>PLC]] を選択し、接続機器の通信設定をダウンロードします。

MEMO
 [Write[KGL_WIN=>PLC]] が選択できない場合は接続機器の運転を止める必要があります。
 [Online] メニューから [Change Mode]-[Stop] を選択してください。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

(3) 通信設定例」(6ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器	\$1						
概要							接続機器変更
-k	-カー LS 産電(株)	1		ルーズ Maste	rーK シリーズ On	et	ポート COM1
文	字列データモード	2 <u>変更</u>					
通信設計	定						
通	信方式	RS232C	C RS42	22/485(2線式) O RS422	/485(4線式)	
通	信速度	38400	-				
デー	一久長	C 7	• 8				
18.	ティ	● なし	○ 偶数		〇 奇数		
자	~ップビット	● 1	C 2				
70]一制御	◎ なし	C ER()TR/GTS)	C XON/XOFF		
\$1	(β <u>;</u> (s	ec)				
ካኮ	.5 1	2 🗄					
送	信ウェイト	р 🚊 (r	ns)				
RI	/ VCC	I RI	C V00				
F	RS232Cの場合、9番	キビンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVC	C(5V電源供給	<u>)</u>		
ĥ	を使用する場合は	、VCCを選択して	だざい。	<i></i>		初期設定	
機器別	設定						
接続可能台数 16台 📷							
¥	No. 機器名			E 号機=0			
00			100				

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に9番ピンのRI/VCCを切り替えます。

■ 機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
号機	0
	初期設定
OK(Q)	キャンセル

設定項目	設定内容
号機	接続機器の号機 No. を「0 ~ 31」で入力します。(初期値 [0])

4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO

 オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守 / トラブル解決ガイドを参照して ください。

参照:保守/トラブル解決ガイド「2.2 オフラインモードについて」

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
Master-K シリー	ズCnet		[COM1]	Page 1/1
通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS2320 38400 ・ 7 ・ なし ・ 1 なし	● 8 ● 偶数 ● 2	◆ 奇数	
タイムアウト(リトライ 送信ウェイト(s) ms)			
	終了		戻る	2006/05/15 11:28:30

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。



設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
号機	接続機器の号機 No. を「0 ~ 31」で入力します。(初期値 [0])

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に9番ピンのRI/VCCを切り替えます。

5 結線図

以下に示す結線図とLS 産電(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。
- 接続機器と IPC を RS-232C で接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズによって異なります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
 使用可能ポート

シリーズ	使用可能ポート
PS-2000B	COM1 ^{**} ¹ , COM2, COM3 ^{**} ¹ , COM4
PS-3650A, PS-3651A	COM1 ^{** 1}
PS-3700A (Pentium®4-M)	$COM1 \stackrel{\text{\tiny \ensuremath{\&}} 1}{\ }, COM2 \stackrel{\text{\tiny \ensuremath{\&}} 1}{\ }, COM3 \stackrel{\text{\tiny \ensuremath{\&}} 2}{\ }, COM4$

※1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてく ださい。

※2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。

 接続機器と PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3 を接続する場合、COM3 の通信方式をディップス イッチで設定する必要があります。詳細は PS-3700A(Pentium®4-M)のマニュアルを参照してくだ さい。

ディップスイッチの設定: RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	OFF	COM2 の通信士式 · BS 222C
3	OFF	COM5 00通信方式 . KS-232C
4	OFF	TX データの出力モード:常に出力
5	OFF	TX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	TXA と RXA の短絡:しない
8	OFF	TXB と RXB の短絡:しない
9	OFF	Auto Detection · 無効
10	OFF	

ディップスイッチの設定: RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	COM2 の通信士書 · BS 422/485
3	ON	COM5 仍通信方式 . KS-422/485
4	OFF	TX データの出力モード:常に出力
5	OFF	TX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	TXA と RXA の短絡:しない
8	OFF	TXB と RXB の短絡:しない
9	OFF	Auto Detection, 如 為
10	OFF	

ディップスイッチの設定: RS-422/485 (2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	COM2 页通信士士 · BS 422/485
3	ON	COMIS 仍通信方式 . KS-422/485
4	OFF	TX データの出力モード:常に出力
5	OFF	TX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	ON	TXAとRXAの短絡:する
8	ON	TXB と RXB の短絡: する
9	ON	Auto Datastion · 左対
10	ON	

結線図1

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) IPC ^{** 1 ** 2}	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内 にしてください。

※1 使用できるポートはシリーズによって異なります。 (3) 使用可能ポート (41 ページ)

※2 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3 を使用する場合、COM3 の通信方式をディップスイッチで設定す る必要があります。 ^⑦ ディップスイッチの設定:RS-232C (41ページ)



自作ケーブル

結線図 2

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ^{※ 1} (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC ^{※ 2} (COM3)	A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	
GP ^{× 3} (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長は 500m 以内にして ください。
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

※1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

 ※2 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3 のみ使用できます。COM3 を使用する場合、COM3 の通信方式を ディップスイッチで設定する必要があります。
 ディップスイッチの設定: RS-422/485(4線式)(42ページ)

- ※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
 - A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(COM1 用)(CA3-ADPCOM-01)および
 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



• 1:n 接続



B) 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



• 1:n 接続



- C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および
 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



• 1:n 接続



D)(株) デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合
 1:1接続



• 1:n 接続



結線図 3

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ^{※ 1} (COM1) AGP-3302B(COM2)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
	В	自作ケーブル	
GP ^{×2} (COM2)	C	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
		自作ケーブル	
IPC ^{××3} (COM3)	Е	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

※2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

 ※3 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3のみ使用できます。COM3を使用する場合、COM3の通信方式を ディップスイッチで設定する必要があります。
 ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)(42ページ)

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)および
 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



B) 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および

(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



- E)(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01) および
 (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



- F) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



結線図4

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) IPC ^{** 1 ** 2}	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内 にしてください。

※1 使用できるポートはシリーズによって異なります。 🎯 使用可能ポート (41 ページ)

※2 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3 を使用する場合、COM3 の通信方式をディップスイッチで設定す る必要があります。 ^⑦ ディップスイッチの設定:RS-232C (41ページ)



自作ケーブル

結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP ^{※ 1} (COM1) AGP-3302B (COM2)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01		
	В	自作ケーブル		
GP ^{₩ 2} (COM2)	C	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてください。	
		自作ケーブル		
IPC ^{₩3} (COM3)	Е	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01		
	F	自作ケーブル		

※1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

※2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

 ※3 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3 のみ使用できます。COM3 を使用する場合、COM3 の通信方式を ディップスイッチで設定する必要があります。
 ディップスイッチの設定: RS-422/485 (2 線式) (42 ページ)

- A)(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01) および
 (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



B) 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



- C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および
 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



- E)(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01) および
 (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続



F) 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続



レーはシステムデータエリアに指定できます。

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

32 デバイス ビットアドレス ワードアドレス 備考 bits P000 - P63F P00 - P63 入力/出力リレー 内部リレー M0000 - M191F M000 - M191 K000 - K31F K00 - K31 キープリレー L000 - L63F L00 - L63 リンクリレー ₩1 F000 - F63F F00 - F63 特殊なリレー rL/H) T000 - T255 タイマ (コンタクト) -----C000 - C255 カウンタ (コンタクト) ____ T000 - T255 タイマ (現在値) -----カウンタ (現在値) C000 - C255 -----ステップコントローラ S00 - S99 データレジスタ D0000 - D9999 Bit Fl -----

※1 書込み不可。

・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく MEMO ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	<i>デ</i> バイスコード (HEX)	アドレスコード
入力/出力リレー	Р	0080	ワードアドレス
内部リレー	М	0082	ワードアドレス
キープリレー	K	0083	ワードアドレス
リンクリレー	L	0084	ワードアドレス
特殊なリレー	F	0085	ワードアドレス
タイマ(現在値)	Т	0060	ワードアドレス
カウンタ (現在値)	С	0061	ワードアドレス
ステップコントローラ	S	0062	ワードアドレス
データレジスタ	D	0000	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容	
番号	エラー番号	
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])	
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。	
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。	

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード:2[02H])」

MEMO	 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。 	
	 ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守 / トラブル解決ガイド」の「 	エ
	ラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。	